



ロータリー：
変化をもたらす

パワー浜松ロータリークラブ週報

クラブテーマ：奉仕の理想のさらなる実現に向けて

パワー浜松ロータリークラブ（2017-18年度 会長：長谷川 博久 幹事：後藤 達朗）
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsuroc.jp
http://www.power-hamamatsuroc.jp

創立：2002年10月22日 認証伝達式：2003年4月29日 スポンサークラブ：浜松中RC

第696回例会 11月14日 AM7:30~8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

●司会：安藤幸史 鈴木直幸

●点鐘：長谷川博久

●ゲスト：米山記念奨学生 薛安琪さん

●議事：米山記念部会 薛安琪さん卓話

「蘇州における蘇繡の復興と経済活性化について」

〈出席報告〉

会員数 77名(内 出席免除会員3名)

出席数 58名 出席率 78, 38%

前々回出席率 86, 3%

■会長挨拶

皆様、おはようございます。先日の地区大会にパワーから 20 名を超えるメンバーの方が参加いただきましてありがとうございました。今年地区大会は、今までと趣を変えまして例年ですと昼食、午後の講演会そして懇親会となりますが昼食がなく、午後 2 時より懇親会で早く終了することもできてよかったかと思われま。それもありません。焼津のメンバーも言っていたのですが当初 700 名ぐらいの想定でしたが実際は、1200 名ほど集まりまして運営自体相当大変だったようです。また、記念公演は「歴史が教えてくれる日本人の生き方」という題で白駒 妃登美氏がお話をされました。CA として勤務されその後、大病を患ったのですが奇跡的に回復し、先人たちの志や思いに触れる歴史の講演を全国各地で年間 200 回こなしています。やはり、地区大会の記念公演は、日本各地からそれなりの人を呼んでいますので聞く価値はすごくあるかと思われま。今後も参加できる機会がありましたら是非積極的に参加をお願いいたします。また、RI 会長代理の小沢様の卓話もございました。この方は横須賀ロータリークラブの方ですが米山記念奨学会の理事長も務められている方です。米山の話で愛知県のホシザキという会社の社長さんとその奥様の株式を米山で寄付を受けるとい話を聞きました。時価総額 650 億で毎年配当金が 7000 万円というとてもいい金額を寄付したロータリアンの方もいらっしゃるそうです。そうした寄付行為を一人でも多くの方が賛同して盛り上げていくことが必要とおっしゃってましたので我々もできる限り頑張っていきたいと思っております。そうした中

で本日の例会は米山奨学生による卓話でございます。米山奨学生から見たパワーの魅力や感じたことをお話ししていただければと思いますので本日はよろしくお願ひします。ありがとうございました。

■幹事報告

- ①地区大会に関する報告
- ②ガバナー月信 11 月号配布の件
- ③2018 年トロント国際大会案内

■スマイル

- ①伊藤勝人 『きものの愛染倉はこの度、創業 40 年を迎え長女「伊藤茜」に社長を交代しました』
- ②長谷川会長 『薛安琪さん、素晴らしい卓話をありがとう』
- ③小澤邦比呂 (同 上)
- ④野田みよ子・藤田光弘 (同 上)

■委員会報告

村田 誠社会奉仕部会長

11月26日(日)開催「防潮堤松の植栽活動」について

■ハッピーバースデー おめでとうございます!!

- 11/15 伊藤勝人 11/17 村田 誠
11/20 金山土洲・長谷川博久
11/21 村木則予



卓話で語った本音

米山奨学生 薛安琪さん

親子丼

好きなんっけども♡



長谷川会長も絶賛

第696回例会は米山記念部会担当により米山奨学生「薛安琪」さんによる卓話を実施。ユーモアを交えた流暢な日本語で学生生活や故郷蘇州を紹介。安ちゃんの成長ぶりに、日本の母「みよちゃん」も目を細める。素晴らしいスピーチに長谷川会長・小澤米山地区委員も絶賛した！



成長ぶりに感動しました!!



▲温かく見守る日本の母「みよちゃん」



▲米山記念部会 藤田部会長

蘇州は日本の京都

蘇州は日本の町に例えると京都だと思えます、同じように歴史が古く、大都市上海の隣にあります。新幹線で、蘇州から上海まで、わずか20分で着けます。蘇州は4000年歴史を持つ町です。蘇州の人は優しく平和です。また、蘇州は張り巡らされた運河が生活に溶け込む街。その美しさは、「東洋のベニス」と称賛されている。しかし、一番有名なものは水ではなく、庭園です。その蘇州には170の庭園が現存し、9つの庭園が世界遺産に登録されています。

お寿司よりも親子丼

私にとって、一番印象に残っていたのは親子丼です、柔らかい鶏肉ととろり卵がご飯にのせて、とても美味しいですね。しかし、親子丼という名前をつけることで、母親と子供と一緒に食べるという意味ではないかと、初めて飲食世界に残酷を感じました。

「おふるくろ」事件

ある日、授業で尊敬語を勉強しました、単語前に「お」をつけることで尊敬語になります。

「単語の前に「お」をつけましょう」と考えながらスーパーに買物に行きました。

わたしは店員さんに「すみません、おふるくろください。」と言ってしまいました。

和装の男性は？



素敵な着物を着ている伊藤会員の後ろ姿を見て緊張しましたがメンバー達はとても優しい人だとわかりました。

「米山奨学生 薛安琪さん 卓話」

(担当：米山記念部会)

皆様、おはようございます。わたしは中国の留学生セツアンキです。現在は静岡文化芸術大学デザイン研究科院生2年です。本日は、留学生として、日本に来て、面白いことや驚いたこととお話したいと思います。



2013年に日本に来て、あっという間に4年間ぐらいい日本に生活しました。そして、ロータリー

米山奨学生になって、もう半年が過ぎましたね。最初の二年間は東京の日本語学校で過ごしました、日本語のカタカナ、ひらがなから、尊敬語、謙譲語までいろいろな単語、文法を勉強させてもらいました。語学上達に秘訣などないです、一番早く外国語が上手になる方法は好きになることだと思います。もちろん、ジョーさんのような優秀な先生がいれば、一番と思います。私の勉強方法は、もし映画、ドラマが好きな人なら、たくさんその国の映画、ドラマを見ることです、テレビ番組が好きな人なら、いっぱい見てください。字幕があってもいいです、吹き替えはダメです。日本語学校にいた時、この勉強方法がルームメイトを教えました、彼女は無料の日本ニュースアプリをダウンロードし、毎晩寝る前に聞いていました。そして、誰よりも早く寝てました。当然、ニュースもとてもいい勉強方法だと思います。特に、発音の練習やリズム感の強化に役を立ちます。しかし、ドラマと比べると、ニュースの言葉使いはちょっと硬く、単語もそんなに日常で使うものではありません。初心者より、ある程度勉強ができた人におすすめします。

そして、語学を勉強する一番大切なのは勇気を持って話すことだと思います。日本へ来て第一年間、私の一番好きなことはスーパーで買い物でした、小澤さんは多分よく知っていると思います。当

時、日本語学校の先生以外、私の日本語はほとんどスーパーの店員さんに捧げました。ある日、授業で尊敬語を勉強しました、単語前に「お」をつけることで尊敬語になります。例えば、お花見、お茶、お弁当、お箸、オレンジ。。。オレンジは違います。放課後、今回は「単語の前に「お」をつけましょう」と考えながらスーパーで昼ごはんを買いに行きました。わたしはニコニコ顔をして、レジの店員さんに「すみません、おふくろください。」と言ってしまいました。この事件で、わたしはそのスーパー2週間も行っていなかったです。

日本に来て驚くことはたくさんあります。例えば、朝電車のラッシュ時間なのに、とても静かです。中国の電車に、しゃべることは普通です。友達に聞いて、イタリアとアメリカの電車にも、大声を出す人が少なくないです。例えば、日本の麻婆豆腐は甘みがあって、辛いこと。特に、日本の食文化の中に、日本人はごはんを残らずに全部食べるという習慣を尊敬しています。そして、日本人はお肉、お寿司などの食べ物の名前に「お」をつけることで、食べ物を大切にすると感じました。しかし、日本伝統のお寿司ではなく、私にとって、一番印象に残っていたのは親子丼です、柔らかい鶏肉ととろ〜り卵がご飯にのせて、とても美味しいですね。しかし、親子丼という名前をつけることで、母親と子供と一緒に食べるという意味ではないかと、初めて飲食世界に残酷を感じました。

この4年間、一番良かったと思うことは日本に来たことです。一番残念と思うことは大學学入学の前に日本へ来なかったことです。もし来ていたらクラブのメンバー達と一緒に過ごす時間は一年増えたのではないかと考えてます。最初の例会を振り返ると、豪華な会場に全員がスーツを着て、とても静かでした。そのあとは、素敵な着物を着て例会に参加した伊藤さんの後ろ姿を見て、頭の中にすぐこういう画面が浮かんできました。更に緊張してきました。今は、クラブのメンバー達はとても優しい人だとちゃんと分かっています。

す。特に、懇親会でお酒を飲んだら、いくら厳しい顔をしているおじさんでも、かわいく思えるようになりました。そして、この間、大澤さんに「毎回の例会を来てるよ」って褒められました、早起きは難しいですが、お母さんのみよちゃん、そしてパワーのメンバー達と会いたいこそ毎回来てます。美味しい朝ご飯の為でもいいんです、100%の出席率は無理だと思いますが、一回 90%出席率が見たいなーと思っています。

そして、先週は県内の日中交流代表歓迎会の通訳を務めさせていただきました。今回は日本表代団が中国へ行きましたので、今回は中国の代表団が日本を見学しに来ました。中国代表団のメンバーはほとんど教育の関係者、特に幼稚園の先生が多いです。

テーブルで、中国の先生達は日本の子供の教育問題、生活スタイル、家庭教育方法について質問しました。その時、日本の先生達も中国の子供達はどういうアニメを見ているか？日本のアニメは見ませんか？と質問しました。私は90年代に生まれ、その時の国家主席江沢民は多国籍文化、国際交流を提唱し、たくさんの日本アニメが輸入し、私はEVA、セイラームーン、一休さん、ドラえもんを見て成長してきました。現在の子供達は日本文化に触れますか？何を見ているか？私も興味深いです。今の子供達を相変わらず、ウルトラマンとドラえもんを見ているという返事もらった時は本当に安心しました。歴史が原因で、多く日本人は中国人が日本を好きではないだろうと思っていますが、日本のファッション、アイドル、アニメ、小説、食文化の影響で、多く若者は日本が好きになりました。今回の交流で、中国の先生達は日本の優秀な教育方法を持って帰って、日本にいる間に見たことを子供に伝えて、日中友好関係を長く、より一層発展できたらいいなーと思いました。

最後、日中友好関係ため、私の故郷の蘇州を紹介したいと思います。時間があれば、ぜひ旅行しに行ってみてください。

蘇州は日本の町に例えると京都だと思います、同じように歴史が古く、大都市上海の隣にあります。新幹線で、蘇州から上海まで、わずか20分

で着けます。蘇州は4000年歴史を持つ町です、中国ではこういう古い話があります；上は天国、下は蘇杭。意味は；上は天国があります、人間界の天国と言えば蘇州と杭州です。勿論、幽霊じゃなくで、景色を言っています。蘇州は昔から多く騷人墨客が生まれ、彼らは月を見ると詩を歌う、花を見ると絵を描く、暇な時集まって詩で戦って遊んでいる生活を過ごしていました。5人の松尾芭蕉が懇親会をする様子を想像してください。彼らのおかげで、蘇州の建物が上品で美しいです。蘇州の人は優しく平和です。一体どの程度の平和でしょうか？例はあります、514年時、蘇州まだ「呉」という国です、その国は戦国時代の前で早々と他の国に敗れました。

また、蘇州は張り巡らされた運河が生活に溶け込む街。その美しさは、「東洋のベニス」と称賛されている。しかし、一番有名なものは水ではなく、庭園です。その蘇州には170の庭園が現存し、9つの庭園が世界遺産に登録されています。

当然、蘇州には現代的なところもあります、金鷄湖は中国で一番大きい都市内湖沼といわれており、伝説では金の鷄が落ちたところから湖の名が付いたと言われています。その金鷄湖近く、蘇州センターがあります、先週オープンしたばかりなので、私もいたことがありません、お母さんに聞いたら、ビルの中には、デパート、オフィス、ホテル、住宅、公園があるらしいです。そして、日本の蔦屋書店や無印良品、イオンデパート、キャノン、日立、富士、ソニー、パナソニック、富士通の中国分社は全部蘇州にあります。

建物以外、蘇州にはたくさん特産品があります、例えば蘇州刺繍、お菓子、上海カニなど。中国の一番有名なカニ産地です。カニの旬の時期には、各地の人が食べに来ます。なので、最初日本で上海カニという名前を聞いたら、私の表情は？？？、気持ちは多分、海外の友達に浜名湖のウナギは知ってる、とても美味しいよと聞いたら嬉しい時に彼女が出したウナギのパッケージに名古屋ウナギという漢字が書いてあると同じだと思います。

もし、蘇州にちょっとでもいきたい気持ちになってくれたら、嬉しいです、私の勝ちです。